

永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽらだより**  
令和5年1月発行・第188号  
認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
TEL:0952-31-6877

### 1月の生活目標

♪お友達と仲良く遊びましょう。  
♪「かしてね」「どうぞ」  
「いいよ」「仲間にいれて」  
などの言葉を使いましょう。



## 新年明けましておめでとうございます

2023年は、暖かい陽が差し込む穏やかな一日から始まり  
ました。マスク姿は相変わらずですが、人々が色々な場所  
に集い、笑顔がたくさん見られました。

あるお店の前には、名物の食べ物を求める人の行列がで  
きていましたが、みんなのんびりと順番を待っていました。  
コロナ禍の3年間は、たくさんの我慢をして耐えてきま  
したが、ほとんどの人がこの難局を乗り越える覚悟をして、  
前に進もうとしているように思えました。

本園も、今年は子ども達の成長と子育て中のご家族のた  
めに一步前進していきたいと思います。

“ぽぽら”を楽しみに集って下さる利用者の皆様と、た  
くさん意見交換をしながら楽しめる企画を準備していき  
たいと思います。本年もどうぞ、よろしく願いいたします。

三光保育園園長

12月は、クリスマス会とクリスマス製作をしました。サンタさんも来てくれ  
て、子どもたちはびっくりしたり喜んだり♪プレゼント、嬉しかったね♡



### 「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回  
地域の方にお越し頂き楽しいひと時を過ごしています。  
お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみ  
ませんか？ **日時：1/19 (木) 2/14 (火)**

### ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け  
付けています。お気軽にお申し込み下さい。  
※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部  
教員による食育相談を行っています。  
事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

### さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

【開園日】月～金（祝祭日・お盆・年末年始を除く）

【時間】9：00～12：30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

12：30～13：30

昼休みの為閉園

13：30～16：00

- ・ご利用の場合は、必ず電話での申し込みをお願い  
いたします。

### 1月・2月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・1月6日（金）…赤ちゃんの日（写真アート）
- ・1月10日（火）…2・3歳の日（お店屋さんごっこ）
- ・1月11日（水）…1歳の日（手形アート）
- ・1月12日（木）…1歳の日（手形アート）
- ・1月13日（金）・16日（月）・17日（火）…フリーデー
- ・2月 2日（木）…2・3歳の日（節分）
- ・2月 6日（月）…赤ちゃんの日（ベビーダンス）
- ・2月 7日（火）…1歳の日（音楽）
- ・2月 8日（水）…1歳の日（音楽）
- ・2月9日（木）・10日（金）・13日（月）…フリーデー
- ・2月21日（火）…育児講座

※時間：10時～11時

※開催場所：子育て支援センター・運動場

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

1歳と2・3歳の日は、参加できます。

※事前の電話での申し込みが必要です。

1月分の申し込みは、1/5（木）～ 9時半～17時です。

2月分の申し込みは、2/1（水）～ 9時半～17時です。

★新型コロナウイルス感染症の状況により、計画の変更がある場合が  
あります。出かける前に必ずホームページで確認してください。感染  
症対策にもご協力ください。

## 子育て便り 寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

### 「反抗期の意味」

短期大学部 幼児保育学科 講師 矢ヶ部陽一

1歳ぐらい子どもの「イヤイヤ」から3歳前後までの「わがまま」については、第1次反抗期と呼ばれます。つい先日も、私の姪っ子も「イヤだ！」と言い放ち、妹が疲れた表情で「はあ…」と呟いていたことが印象に残っています。

そばで見ている方は微笑ましくても、毎日子育てする方々は大変です。周囲からのそれが当たり前でしょという雰囲気の中、子育てのストレスを抱えている方も多いのではないかと思います。

しかしながら、私たちが忘れてしまっている子どもの世界に視線を移した場合、この反抗期はどのような意味があるのでしょうか。

子どもの「イヤ」は、「周りに尊重してもらいたい」ということをアピールだといわれます。つまり、自我の芽生えであり、そのはたらきとしての自己主張だともいえます。そして、2歳頃になるとこころのイメージ（表象）がより豊かになり、「イヤ」を卒業し「わがまま」を表現するようになります。例えば、母親の両手が荷物で塞がっている買い物の帰りに、子どもが「おんぶして！」と要求したとします。

このおんぶの「わがまま」は、ふたつのメッセージがあると言われます。ひとつは、言葉どおり「おんぶしてほしい」要求です。もうひとつは、「自分を尊重して！」という要求です。いわゆる子どものダダコネには、この「自分が尊重されていない！」という思いがつよいと言われています。

「イヤ」や「わがまま」には、言葉の意味ではなく、その背景にある「自分を尊重して！」という思いに寄り添ってあげることが大切です。例えば、「いいよ、今荷物があるから、帰ってからね」と言うと、子どもの思いを尊重してあげることになると思います。

ある精神科医の先生が「反抗期のない子どもは、アンバランスな感情を抱えていることがある」という趣旨を指摘されていました。どうやら、子どもにとってある時期に安心してワガママを表現できることは、こころの成長の土台になるようです。

育児や家事、また仕事などを抱え、日々忙しくされている方も多いと思います。ときには、子どもにイライラとしてしまうことや厳しく接することもあると思います。そんなとき、「わが子も成長している」と心の中でつぶやいてもらえれば少し余裕ができるかもしれません。余裕ができれば、家族に笑顔が生まれます。その笑顔が暖かい雰囲気を生み、子どもの安心にもつながるのではないのでしょうか。

参考文献：神田英雄（2008）『育ちのきほん－0歳から6歳』ひとなる書房